



## 9. 謝辞

---

このプログラムを作成するにあたっては、東京大学薬学部 分子薬物動態学教室 杉山 雄一 教授、楠原 祥之 准教授、および慶應義塾大学医学部 谷川原 祐介 教授、現在ベルシステム 24 にいらっしゃる笠井 英史 先生を始め、多くの方にアドバイスいただきました。厚く御礼申し上げます。また万有製薬株式会社 旧薬物代謝研究所および臨床医薬研究所の多くの関係者の方々の御協力を得ました。この場を借りて感謝の意を表します。さらに私が東京大学医学部附属病院に移った後に研究を支えていただいた、鈴木 洋史 教授をはじめとするスタッフの方々に深謝致します。

このプログラムで使用されているアイコンの一部はインターネットから入手したものです。Samuel Krueger 氏(<http://homepage.mac.com/pixeljerk> 現在リンクは無効です)、および Adrian Jean 氏に(<http://mac.axonz.com>)に感謝致します。



## 10. リファレンス

---

1. 山岡 清、谷川原 祐介「マイコンによる薬物速度論入門」 南江堂
2. 山岡 清「マイコンによる薬物速度論解析法」(1984) 南江堂
3. 森 正武「数値計算プログラミング」(1986) 岩波書店
4. 安原 充、大宮司 久明 編「数値流体力学」(1992) 東京大学出版
5. 堀 了平 編「Population Pharmacokinetics 入門」(1988) 薬事時報社
6. 花野 学 編「ファーマコキネティクス 入門編」(1987) 南山堂
7. 花野 学 編「ファーマコキネティクス 応用編」(1989) 南山堂
8. 杉山 雄一 編「ファーマコキネティクス 研究の方法と技術」(1993) 日本薬物動態学会
9. S. L. Beal, L. B. Sheiner, A. J. Boeckmann, "NONMEM User's guide", NONMEM Project Group: University of California, San Francisco, (1998).
10. A. Hisaka and Y. Sugiyama, "Analysis of nonlinear and nonsteady state hepatic extraction with the dispersion model using the finite difference method", Journal of Pharmacokinetics & Biopharmaceutics, (1998), **26**, 495-519.
11. T. Iwatsubo, A. Hisaka, H. Suzuki and Y. Sugiyama, "Prediction of in vivo non-linear first-pass hepatic metabolism of YM796 from in vitro metabolic data", Journal of Pharmacology & Experimental Therapeutics (1998), **286**, 122-7.
12. A. Hisaka, T. Nakamura and Y. Sugiyama, "Analysis of nonlinear hepatic clearance of a cyclopentapeptide, BQ-123, with the multiple indicator dilution method using the dispersion model", Pharmaceutical Research (1999), **16**, 103-9.
13. 樋坂 章博、安盛 俊雄、谷川原 祐介, "薬物速度論プログラム Napp による吸収動態解析", 臨床薬理(2002), **33**, 137-8S.